

平成 23 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	ワタミフードサービス株式会社	
所在地	東京都大田区羽田1-1-3	
事業者番号	213600	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	1,964	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m ² 以上の事業所)		m ²
産業分類名 (中分類)	飲食店	
分類番号 (中分類)	76	
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、 資本金等)	事業内容：飲食店の経営及び飲食チェーン店の経営等 従業員数：1560名 資本金等：1億円	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	和民・坐和民・わたみんな家・和み亭	

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算 エネルギー使用量(kL)
1500kL未満の事業所の合算		
213600		1,964
単独で1500kL以上の事業所		
合計		1,964

(4) 公表方法

<input type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	
<input type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
	所在地 1	
	閲覧可能 時間 1	
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能 時間 2	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	ワタミグループとしての使用量をCSR報告書に掲載 http://www.watami.co.jp/eco/kankyo/kh.html	

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 人材開発本部	03-5737-2834	03-5737-2731	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

(6) (IV類(任意事業者)のみ記入) 県による公表の可否

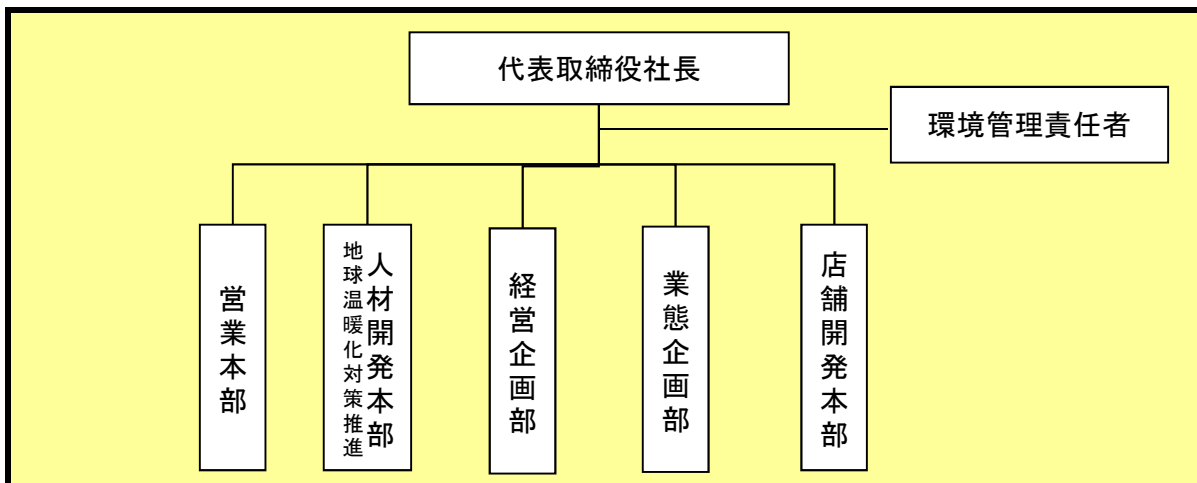
県による報告書の公表を希望	
---------------	--

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

■環境基本方針

- ・地球で事業活動を営む企業の責任として、その存在ゆえに生じる環境負荷を少しでも小さくする。～地球の邪魔をしない存在となる～
- ・環境活動が経済活動であることを証明して、他の企業を啓発する。
- ・グループの成長に伴い増え続ける国内外の従業員を介して「環境」に働きかける。その一人ひとりが生活の中で、常に「環境」を意識し、実質的に明日の地球の現実を変えていくための行動をとる。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO ₂	3,594	3,193			
その他ガス					
温室効果ガスの合計	3,594	3,193			

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成	23	年度	事業者番号	2136	事業所番号	213600
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	和民大宮東口駅前店					前年度における事業所数	38	
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市大宮区						
	字・地番	宮町1-48						
原油換算エネルギー使用量(kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)		
	使用量	2,259						
産業分類名(中分類)	飲食店							
分類番号(中分類)	76							
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	事業内容:飲食店の経営及び飲食チェーン店の経営等 従業員数:1,560 敷地面積:8,653㎡						
	延床面積	10221					m ²	
商標又は商号	和民・坐和民・わたみんな・和み亭							

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計画期間	23	年度	~	26	年度
目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	平成22年度の排出原単位0.3516t-CO ₂ /㎡を基準として、平成26年度末までに4%(0.01406t-CO ₂ /㎡)削減します。0.3376t-CO ₂ /㎡			
	その他ガス				

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

 CO₂換算(t-CO₂)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂	目標			3,368	3,558	3,522	3,486	3,450
	実績	3,502	3,594					
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂	目標						
		実績	0	0				
	メ タ ン	目標						
		実績	0	0				
	一 酸 化 二 窒 素	目標						
		実績	0	0				
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0				
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0				
	六 ぶ っ 化 い お う	目標						
		実績	0	0				
温室効果ガスの合計	目標		3,368	3,558	3,522	3,486	3,450	
	実績	3,502	3,594					

 (2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

 CO₂換算(t-CO₂/指標)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	目標			0.3309	0.3481	0.3446	0.3411	0.3376
	実績	0.3426	0.3516					
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量 (単位)	t/年						
	<input type="radio"/> 出荷額 (単位)	百万円/年						
	<input type="radio"/> 従業員数 (単位)	人						
	<input checked="" type="radio"/> 床面積 (単位)	m ²	10221	10221	10221	10221	10221	10221
	<input type="radio"/> ()							

 4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量
別紙1-1、1-2号

 5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況
別紙2号

 6 温室効果ガスの過年度における推移
別紙3号

 7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価
別紙4号

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	和民大宮東口駅前店	さいたま市大宮区宮町1-48
2	和民久喜駅前店	埼玉県久喜市中央1-1-8
3	和民上尾モンシェリー店	埼玉県上尾市谷津2-1-50-24
4	坐和民大宮南銀店	埼玉県さいたま市大宮区仲町1-15
5	坐和民蕨東口駅前店	埼玉県蕨市塚越1-3-1
6	和民浦和西口店	埼玉県さいたま市浦和区高砂1-14-10
7	和民西川口東口店	埼玉県川口市並木2丁目1番地6号
8	坐和民川口東口店	埼玉県川口市栄町3-9-19
9	和民せんげん台西口駅前店	埼玉県越谷市千間台西1-4-3
10	和民東川口駅前店	埼玉県川口市戸塚2-22-33
11	坐和民越谷東口店	埼玉県越谷市弥生町3-24
12	和民草加西口店	埼玉県草加市氷川町1130-1
13	和民所沢西口駅前店	埼玉県所沢市日吉町691
14	和民飯能北口駅前店	埼玉県飯能市仲町10-1
15	和民小手指北口店	埼玉県所沢市小手指町1-15-1
16	和民川越東口クレアモール店	埼玉県川越市脇田町4-3河智屋ビル2F
17	和民志木南口駅前店	埼玉県新座市東北2-30-18
18	和民狭山市駅前店	埼玉県狭山市祇園4-62
19	和民坂戸北口駅前店	埼玉県坂戸市日の出町14番地3号
20	和民新所沢西口店	埼玉県所沢市緑町1-1-11
21	和民みずほ台西口駅前店	埼玉県富士見市西みずほ台2-2-7
22	坐和民東松山店	埼玉県東松山市箭弓町(ヤキョウチョウ)1丁目13番15号
23	和民朝霞台店	埼玉県朝霞市浜崎1-2-8 アゴラ20ビル8F
24	坐和民和光南口店	埼玉県和光市本町3-13
25	和民新越谷駅前店	埼玉県越谷市南越谷1-19-3

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	和民さいたま新都心店	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-61-1
2	和み亭大宮日進店	埼玉県大宮市大字上加字東谷1372-2
3	和み亭和光店	埼玉県和光市本町9-41
4	わたみんな家熊谷北口駅前店	埼玉県熊谷市筑波三丁目93番地
5	わたみんな家所沢西口プロペ通り店	埼玉県所沢市日吉町8-5
6	わたみんな家西川口店	埼玉県川口市西川口1-5-3
7	わたみんな家川口東口店	埼玉県川口市栄町3-4-1
8	わたみんな家松原団地東口駅前店	埼玉県草加市栄町2-12-1ステーションプラザビル3F
9	わたみんな家朝霞南口駅前店	埼玉県朝霞市本町2丁目5番23号
10	わたみんな家JR川越西口店	埼玉県川越市脇田本町16-3
11	わたみんな家大宮東口店	埼玉県さいたま市大宮区仲町1-15
12	わたみんな家大宮西口駅前店	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-5-3
13	わたみんな家和光南口駅前店	埼玉県和光市丸山台1-10-6
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

事業所番号	213600
-------	--------

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所
和民大宮東口駅前店

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	給湯温度の設定は衛生上可能な範囲で低く設定するとともに、冬季以外の洗面所系統においては、停止することを検討する。	2013年度中	給湯器の設定温度を季節ごとに見直しをかける
2	140200	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給排水設備の管理	洗面所や手洗い場などに節水コマを設置している。または自動洗浄装置を設置している。	2013年度中	節水機能付きのスパウトを各店シンクに取り付ける
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

(1) 温室効果ガス排出量の推移

和民大宮東口駅前店

CO₂換算(t-CO₂)

		14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度														
燃料等使用量の原油換算量(kL)									2,209	2,259				
エネルギー起源CO ₂									3,502	3,594				
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂													
	メタン													
	一酸化二窒素													
	ハイドロフルオロカーボン													
	パーフルオロカーボン													
	六ふっ化いおう													
合計		0	0	0	0	0	0	0	3,502	3,594				

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

			14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
基準年度											○				
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位										0.3426	0.3516				
活動規模の指標	○	生産量(単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	出荷額(単位)	t/年							0	0	0	0	0	0
	○	従業員数(単位)	人							0	0	0	0	0	0
	●	床面積(単位)	m ²							10221	10221	10221	10221	10221	10221
	○	()								0	0	0	0	0	0

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

A事業所
和民大宮東口駅前店

自由記述欄

ワタミグループは、『美しい地球を美しいままに、子供たちに残していく』という環境宣言のもと、1999年には外食産業で初めてISO14001の認証を取得し、ワタミグループ環境方針『W-ECOビジョン2020』(2020年までにCO2排出量を50%削減する(売上高あたり))を掲げて取り組んできました。

2010年には、過去の取組みの評価と今後への期待から環境省から“エコファースト企業”に認定頂き、より外食や介護をはじめとする事業において環境負荷を削減し、ワタミファームやワタミエコロジーなどの環境に貢献する事業においては事業を強化していきます。さらに全ての活動のベースとなる社員一人ひとりの環境意識の向上を図りながら、ワタミの森などの環境活動NPOも支援していきます。

2011年度取組みは、震災の影響のあるなか、店舗では環境改善の取組項目を8項目に絞り込み、運用改善の取組みを徹底してきました。2012年度は、2項目を追加することと、2名のスタッフが店舗を巡回することで、項目実施徹底度の向上に取り組んでいます。運用改善が出来たうえで、店内照明や看板照明などの設備を省エネタイプに変更し、より環境負荷の少ない店舗づくりをすることを実施していきます。

ワタミグループは、将来的にはグループで使用する電気は全てグリーン電力で賄いたいと考えており、手始めに2012年3月竣工の風車建設プロジェクトに融資を行い、そこで発電された電気と環境価値を購入して使用する計画を推進したところです。

今後も省エネに留まらず、環境貢献の取組みを推進していきます。